

ノラ猫トラブルのない 地域社会をめざして

3 従来型対策がもたらす結果

地域猫活動アドバイザー 石森信雄

「エサやり禁止」するとどうなるの？

①Aパターン（かなり稀）

第一段階 簡単には猫がいなくなる



© OpenStreetMap contributors

実際の地図を元に加工した架空の町です。

A パターン

第二段階 エサやり禁止を地域で徹底

あなたも
エサやり
してたのか！

すぐ止めて
ください

最近
ウチの周りは
減ったわ

エサ
やるな

エサやり
バレた

エサやり
止めた

エサ
やるな

エサ
やるな

エサ
やるな

エサ
やるな

こっそり
エサやり

- ・猫の強固なテリトリー意識
- ・まだ、こっそりエサを与える人がいる
「猫が不憫すぎて、止められない…」

© OpenStreetMap contributors

実際の地図を元に加工した架空の町です。

A パターン

第三段階 全面禁止を達成！



実際の地図を元に加工した架空の町です。

A パターン

第四段階 エサを求めて猫が近接エリアに移動

- ・ 移動先で繁殖を続けるので大迷惑
- ・ 何ら問題の解決になっていない
- ・ いずれ、増えすぎた猫が再流入する

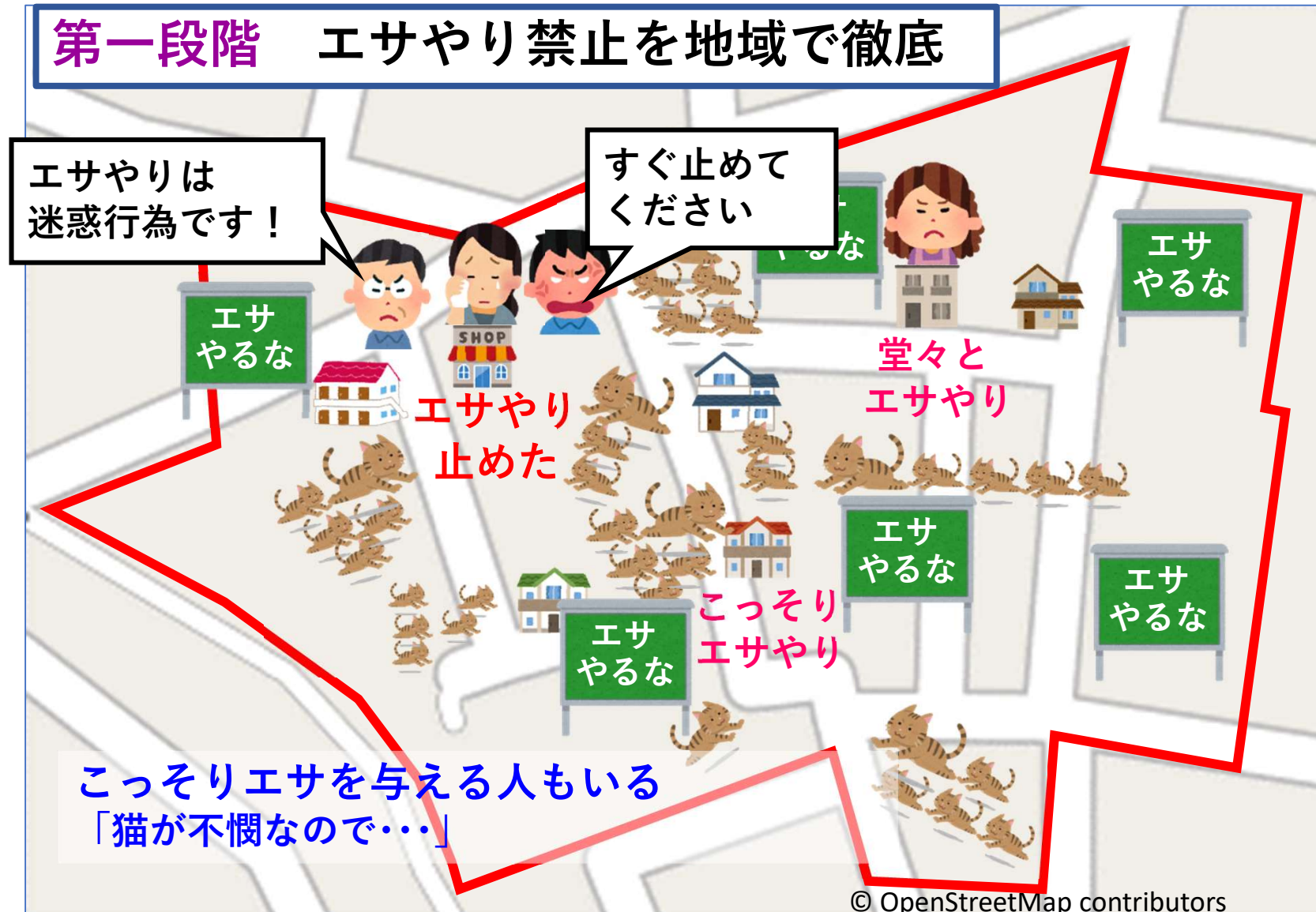


© OpenStreetMap contributors

実際の地図を元に加工した架空の町です。

②パターン（大抵はこのパターン）

第一段階 エサやり禁止を地域で徹底



© OpenStreetMap contributors

実際の地図を元に加工した架空の町です。

B パターン

第四段階 コロニーの限界頭数を超え、猫が流出

こうやって、どこまでも続く
猫だらけの街が形成される



実際の地図を元に加工した架空の町です。

厳しく注意しても絶対にエサやりは止めない



子ども好きの人が、子どもを大切にするのに近い気持ち
「外で暮らす不憫な子に、せめてご飯をあげたい」という思い



価値観の決定的な相違



「ノラ猫」と呼ぶ人と、「この子たち」と呼ぶ人との
価値観の決定的な相違

多くのエサやり者は、愛情をもってノラ猫にエサやりしている。
だから、エサやり者にとっては「エサやりするな」はひどく冷酷な
言葉として、心に突き刺さる。→ → →感情的対立に発展

**エサやりしている人に
無理に飼わせるとどうなるの？**

「エサをやるなら家で飼え」は危険すぎる



急に何頭もの猫を飼うことになる＝その人の経済力を超える恐れ

ひとりでたくさんの猫を抱え、どうしたらよいか分からず、

去勢不妊手術が進まずに、宅内で自家繁殖が始まる

数年で**50頭以上**に・・・・・・・・**多頭飼育崩壊**

「エサをやるなら家で飼え」の間違い

① そもそも

猫を飼うか飼わないかは、その人の判断によるものであり他人から指示されるようなことではない。

② 猫を飼うには

飼う側の経済力、生活空間、健康状態、家族構成など
きちんと飼うために必要な条件がある。
必要条件を満たさない者に猫を飼わせると、
近い将来に、近隣を巻き込む悲劇となる。

「エサをやるなら家で飼え」の間違い

3 エサやり者こそが元凶という考えだが
そもそも、先にノラ猫がいたからエサを与えたのである。

猫がいないのにエサを置く者はいない。
ノラ猫がエサをねだれば、一定数の人はエサを与える。

ノラ猫問題が放置されてきたことが、
トラブルの最大の原因である。

「エサをやるなら飼ってください」などと言うと
後々にトラブルに発展したときに
責任を追及される恐れがある

「『飼ってください』と厳しく注意されたんです…」

エサやり禁止



かえって事態悪化

エサをやるなら家で飼え



悲惨な結果

無駄なことは止めて
もっと合理的にいきましょう

つぎは

4 「地域猫活動」 ってなに？

をお読みください

基本のコンセプト、法令の根拠、
行政の役割について記載しました